

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス Sunny side up			
○保護者評価実施期間	令和8年1月15日 ~ 令和8年1月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)	16
○従業者評価実施期間	令和8年1月15日 ~ 令和8年1月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月6日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者への情報提供、連携	HUGというソフトを使用して、日々の記録や行事の様子などを保護者がスマホやパソコンすぐに確認出来る体制を整えている。また、LINEも全保護者と繋いでいて、災害時や緊急時などでもすぐに連絡が取れるようにしている。 送迎の場面でも出来るだけその日の様子や学校との情報交換についても伝えるようにしている。	HUGでの公開について、活用してもらっている保護者が前年度よりは増えたが、まだ全保護者ではないため、より活用してもらえるように働きかけていきたい。
2	医療系スタッフ（看護師2名、理学療法士2名）が、常に複数名勤務している。	医療ケアが必要な利用児などへの支援を安全に行えている。また、ケガや体調不良などへの対応も適切に行えている。 環境整備についても医療の知識に基づいて、消毒作業や室温・湿度のコントロールを徹底している。 毎月の職員会議にて、上記内容等を全職員が看護師から指導を受けている。	感染対策の面から、医療機関との連携が難しく、診察やリハビリ場面への同行や見学が出来ていないが、可能となれば取り組んで、さらなる充実を図っていきたい。
3	同法人内に相談支援や訪問介護の事業所があり、連携をとっている。	利用児のライフステージや生活環境によって、必要な支援についての情報を得たり、訪問介護部門の支援を併用する利用児の情報交換を行っている。 業務改善委員会では共同して委員会を設置して業務改善の検討を行っている。	定期的に共同でカンファレンスを開催し、放課後等デイサービスだけでなく、全職員が生活全般で利用児をとらえる視点、広く考える力をつけていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われる事 ※事業所の課題や改善が必要だと思われる事	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	立地が大きな道路に面していて、屋外活動するスペースがわずかしかない。	別府市の中心に近く交通には便利な場所であるが、屋外での活動は常に地域の公園などに出かける必要がある。また、近隣の散歩では常に車への危険が伴う。 利用児のお迎えなどの保護者用の駐車スペースがわずかしかない。	立地条件、屋外スペースの少なさは改善が難しいが、屋外で季節を感じ、色々な刺激を得ることは大切な経験であるため、下校後のわずかな時間でも屋外での活動が出来るように活動内容を工夫していきたい。 保護者用の駐車スペースに関しては、送迎車を裏の職員駐車場に移動するなど工夫をしていきたい。
2	解放できる窓がない	もともとコンビニとして建てられた建物で、玄関と裏口のドアを開放する以外は開放出来る窓がない。利用児によつては圧迫感を感じることがある。外を見るためには玄関や裏口のドアを開ける必要があり、その時には職員が見守っている。 換気に関しては工夫が必要。	建物の構造は変更が出来ないため、外を見たい利用児については、ロールカーテンを開放して外の確認が出来るようにしたり、職員が付き添つて外に出る時間を作るなどの工夫をしていきたい。 換気に関しては、裏口の開放とそれに伴う冷気や熱気の遮断の工夫をしていく。
3	放課後児童クラブなど地域交流が出来ていない。	近くの公園に出かけたりはあるが、事業所のみで完結していく放課後児童クラブなどとは交流が出来ていない。	放課後児童クラブなどの交流は出来ていないが、学生ボランティアを受け入れて、地域交流は行っているので継続していきたい。また、地域のごみ拾いを行事として取り入れるなどして交流を図っていくきっかけを作っていきたい。